



平成23年6月29日

各 位

上場会社名 株式会社 小島鐵工所
 代表者 代表取締役社長 児玉 正蔵
 (コード番号 6112)
 問合せ先責任者 取締役執行役員経理部長 田中 教司
 (TEL 027-322-1221)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年1月27日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年11月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年12月1日～平成23年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	600	10	30	16	1.60
今回修正予想(B)	352	△244	△222	△221	△22.08
増減額(B-A)	△248	△254	△252	△237	
増減率(%)	△41.3	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年11月期第2四半期)	1,693	63	73	45	4.54

平成23年11月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年12月1日～平成23年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,100	30	70	38	3.80
今回修正予想(B)	1,900	20	40	22	2.20
増減額(B-A)	△200	△10	△30	△16	
増減率(%)	△9.5	△33.3	△42.9	△42.1	
(ご参考)前期実績 (平成22年11月期)	2,234	△33	20	18	1.85

修正の理由

当社の主製品である大型油圧プレス機は、形状、能力、機能のほか、納期、一台当たりの金額もそれぞれ異なる個別受生産でありますので、当社の売上は一定しておらず、季節的変動によるものでもなく、納期的、金額的なバラツキにより売上の変動が大きくなります。また、当社製品が大型プレス機械ゆえ、設計・生産着手から納品・据付まで平均して1年程度を要するため、受注から売上計上まで相当期間のズレを生じてしまうのが、当社の事業の特性であります。

このような事業の特性を持つ当社におきまして、当111期第2四半期における売上高につきましては、納期が長く当上半期間における売上予定物件が少ない中で若干の納期ズレ込みも重なり、前回発表予想数値6億円に対し、3億5千万円に止まる見込みであります。

利益面につきましても、原価低減を始め、人件費等諸経費全般に亘り削減に努めてまいりましたが、売上の低迷は如何ともし難く、これら諸経費を吸収するまでには至らず、更には、海外納入品の据付費・現地工事費等が嵩んだ事等で、不本意ながら、営業損益から、当四半期純損益まで共に、前回発表予想数値を大幅に下回る損失となる見込みであり減額修正するものであります。

なお、受注状況につきましては、海外からの大型プレス機の受注に成功し、当第2四半期の受注残高は、前年同期7億97百万円を上回る11億48百万円とかなり増加し、更に現在成長著しいブリックス等の国外及び国内を中心として大型案件の引き合いが浮上しており、更なる受注増加を期待しているところであります。

平成23年11月期通期個別業績予想につきましても、当上半期末の受注残高状況及び当第2四半期の減額修正に伴い、通期予想数値を減額修正するものであります。

* 上記予想は、現時点に於いて、入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる結果になる可能性があります。

以上